

## 第3回 (仮称) 若草大橋延伸線ワーキンググループ

1. 第3回ワーキンググループの検討事項 .....	2
----------------------------	---

**【報告事項】**

2. 第2回ワーキンググループの概要 .....	3
--------------------------	---

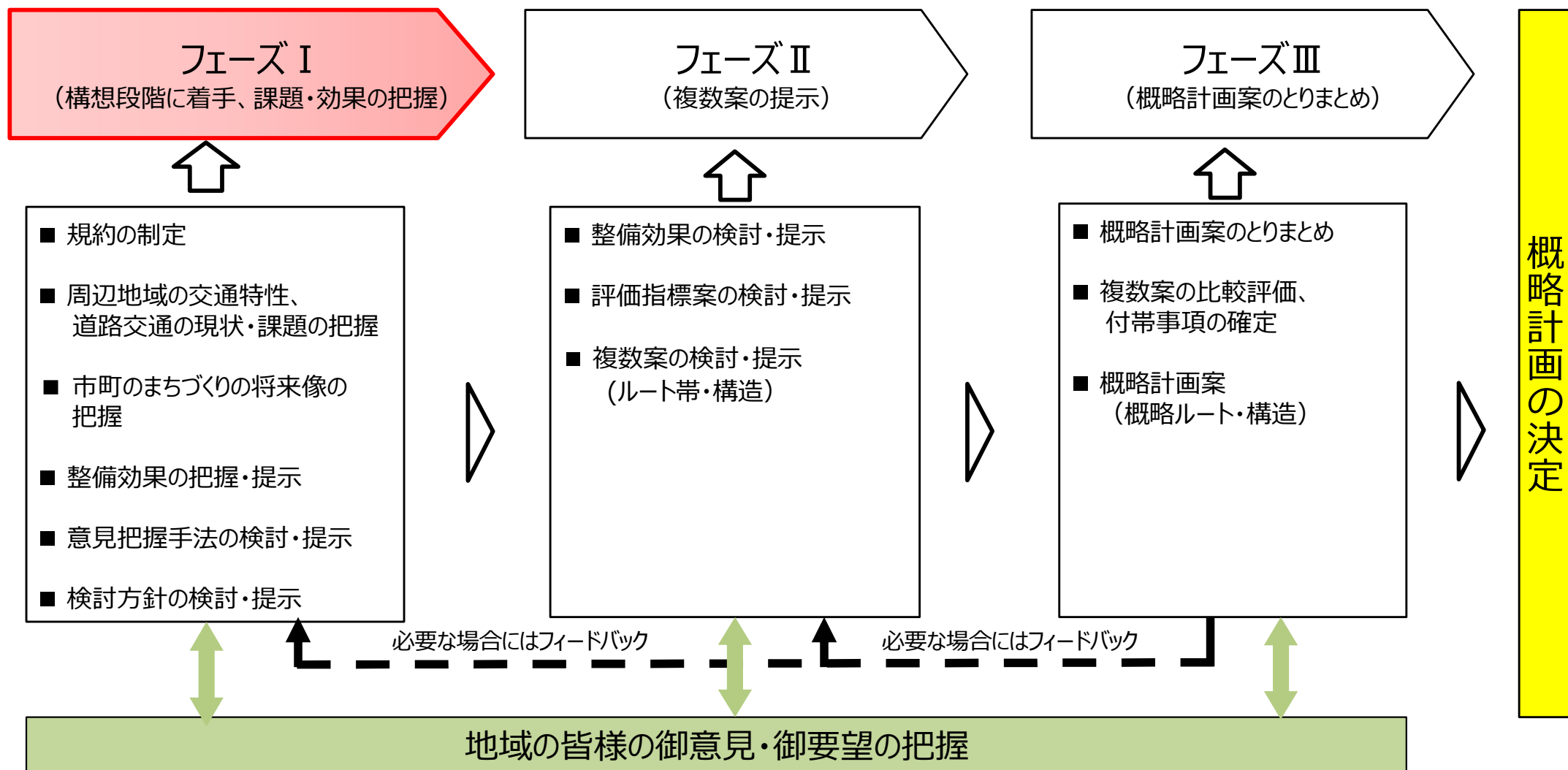
**【検討事項】**

3. 期待される効果 .....	6
------------------	---

4. 配慮事項 .....	11
---------------	----

▶ 本ワーキングの進め方・審議事項は以下のとおり

## (1) 検討方針



## (1) 結果概要

第2回WG議事概要(R6.8.20開催)

第2回(仮称)若草大橋延伸線協議会ワーキンググループ

次 第

令和6年8月20日(火) 15:00~  
印旛合同庁舎 2階 入札室

1. 開 会 (あいさつ)

2. 出席者の紹介

3. 議 事

(1) 第1回ワーキンググループの概要

(2) 本ワーキンググループでの審議事項

<御意見を伺いたいこと>

- ① ルート帯や道路構造、その評価指標を検討する上での各市町のまちづくりの考え方について
- ② ルート帯や道路構造を検討する上で、配慮すべき評価指標について
- ③ 地域への意見把握手法・情報発信手法について
- ④ 概略計画の決定に向けた今後の進め方(案)について

4. 閉 会

### 配慮事項

#### 【ルート帯】

・若草大橋延伸線の沿道は水田地帯であり、どのルートを通っても問題はないが、**水田の形状が歪にならないよう配慮してほしい。**

#### 【道路構造・道路機能】

・沿道開発や**防災の観点**を配慮してほしい。  
・**防災面では河川氾濫に伴う浸水を懸念**しているため、盛土形式にして浸水しないような道路としたい。  
・沿道開発の面では側道を整備するとともに、**地域分断に配慮した構造**としてほしい。

#### 【意見把握】

・説明会やアンケートを組合せて実施すること。なお、アンケートは住んでいる方々はお年寄りが多いので、紙形式で実施したい。  
・ステークホルダーには、**農林関係や土地改良関係の部局**も考慮すること。

### 今後の進め方(案)

・ご指摘いただいた意見を踏まえて検討を進め、引き続き意見交換をおこなっていく。

➡ (仮称) 若草大橋延伸線周辺の地域・交通課題を踏まえて、評価指標及び意見把握手法・情報発信手法の具体化を進める

## (2) 主な意見

項目	細目	配慮事項
ルート帯	営農環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 若草大橋延伸線の沿道は水田地帯（優良農地）であり、水田の形状が歪にならないよう配慮してほしい。</li><li>・ 白鳥の郷への影響も考慮してほしい。</li></ul>
道路構造・道路機能	沿道開発	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 将来的には沿道開発を促進したいため、高架構造は避けてほしい。</li></ul>
	防災機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 利根川の氾濫が懸念される地域であるため、盛土などの嵩上げによる防災面についても考慮してほしい。</li></ul>
	地域分断	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域分断に配慮した構造としてほしい。</li></ul>
意見把握		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 説明会やアンケートを組合せて実施すること。なお、アンケートは住んでいる方々はお年寄りが多いので、紙形式で実施したい。</li><li>・ ステークホルダーには、農林関係や土地改良関係の部局も考慮すること。</li></ul>

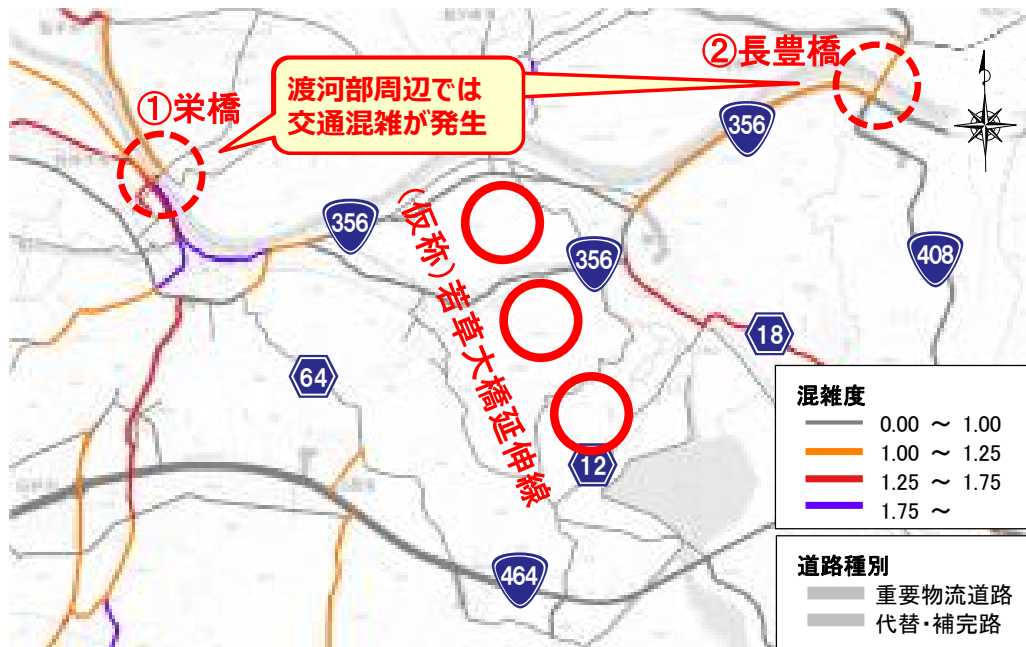


# 3. 期待される効果

## (1) 渋滞

- 若草大橋と並行する栄橋や長豊橋では、ピーク時間帯を中心に交通混雑が発生している。
- 当該路線を整備することで並行する渡河部の交通が分散し、交通混雑の緩和が期待できる。

### ● 周辺地域の混雑度（現況）



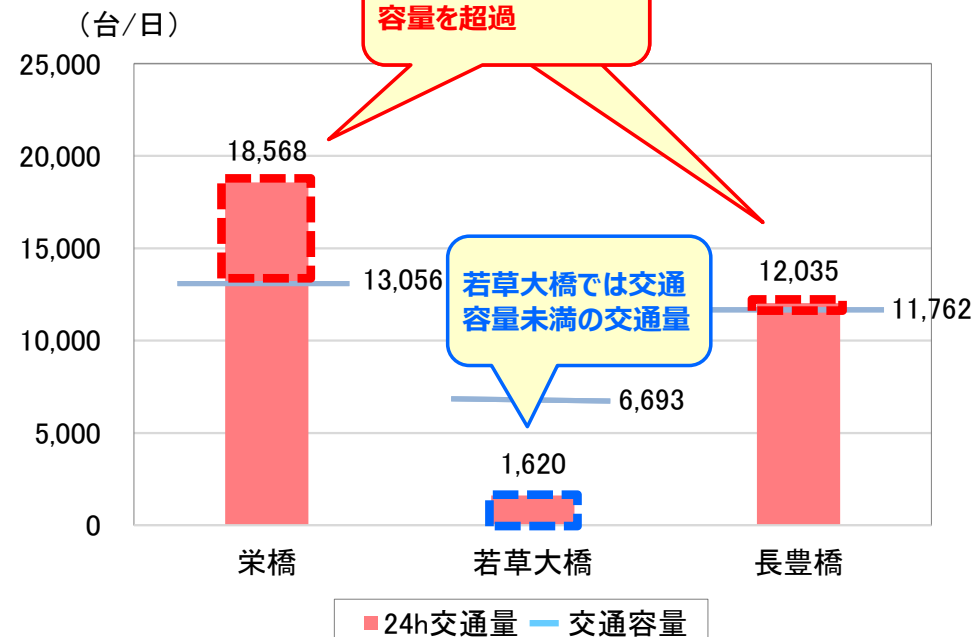
<出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表>  
 <出典：国土数値情報 重要物流道路データ(令和3年度版)>

### ● 混雑度の目安

混雑度	交通状況
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.0~1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間（ピーク時間）ある。
1.25~1.75	ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い。
1.75以上	慢性的混雑状態を呈する。

<出典：道路の交通容量 社団法人日本道路協会 昭和59年9月>

### ● 渡河部の交通状況



※交通量 <出典：令和6年度交通量調査結果(平日)>  
 ※交通容量 <出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表>

### ● 隣接渡河部の様子

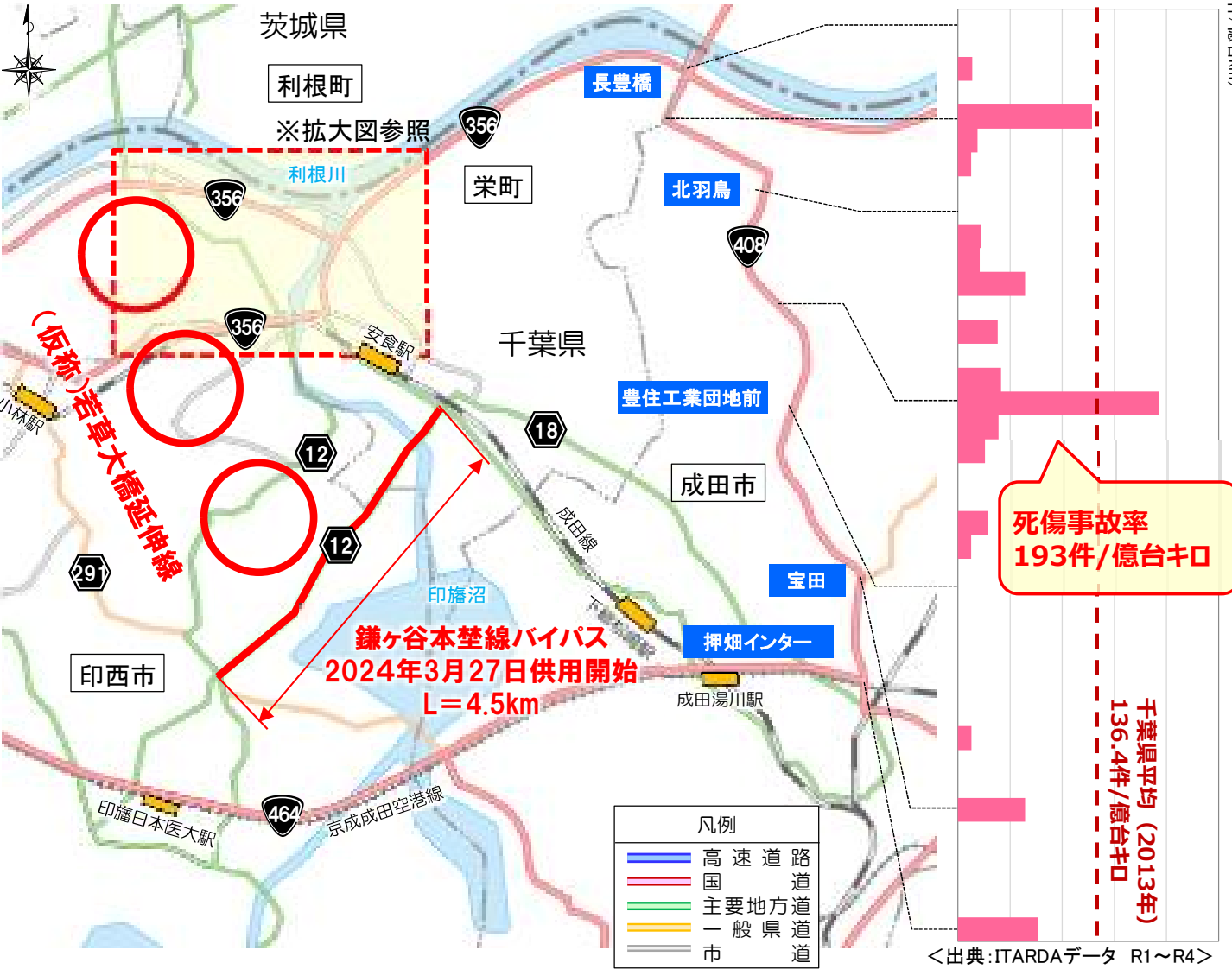


# 3. 期待される効果

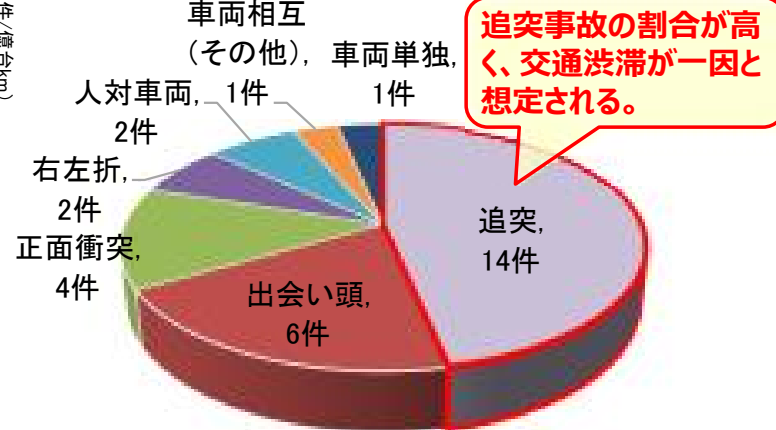
## (2) 事故

- 若草大橋延伸線に並行する国道408号（長豊橋～押畑インター）では、死傷事故率が高い箇所が193件/億台キロ（R1～R4）に及ぶ。追突事故の割合が高く、交通渋滞が一因と想定される。
- また、若草大橋延伸線周辺の県道18号や生活道路等では、交通事故が約50件（R1～R4）発生している。
- 若草大橋延伸線を整備することにより、周辺路線の渋滞緩和による事故減少が期待される。

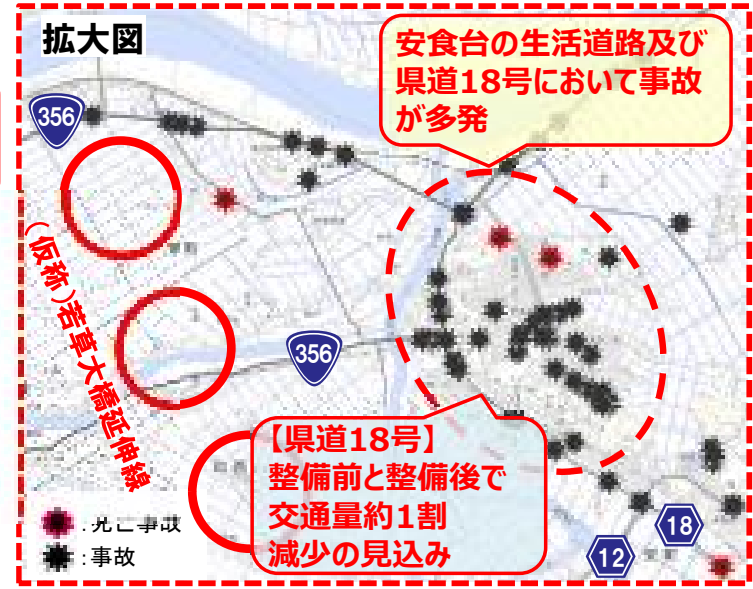
● 国道408号（長豊橋～押畑インター）における死傷事故率



● 長豊橋～押畑インターにおける事故類型



● 安食台の生活道路での事故発生状況



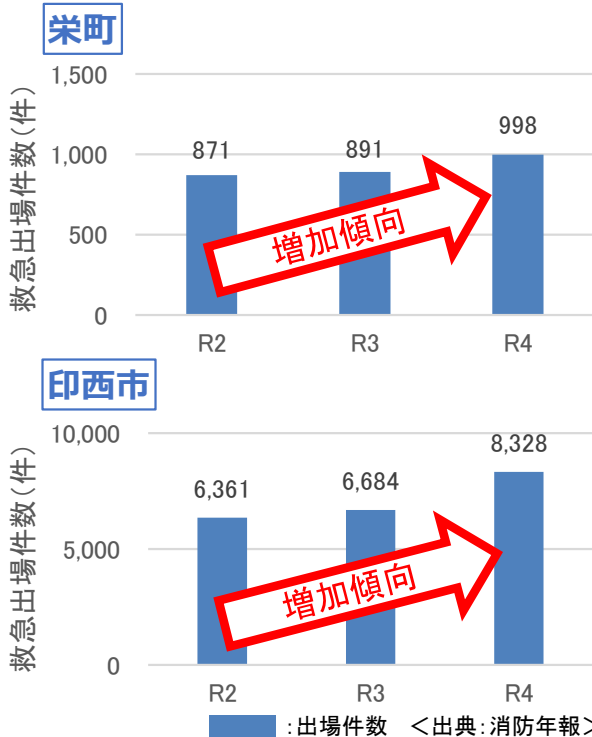
<出典:ITARDAデータ R1～R4>

<出典:警察庁 交通事故統計情報オープンデータ(R1～R4)>  
※1:R6年度実施の交通量推計結果より

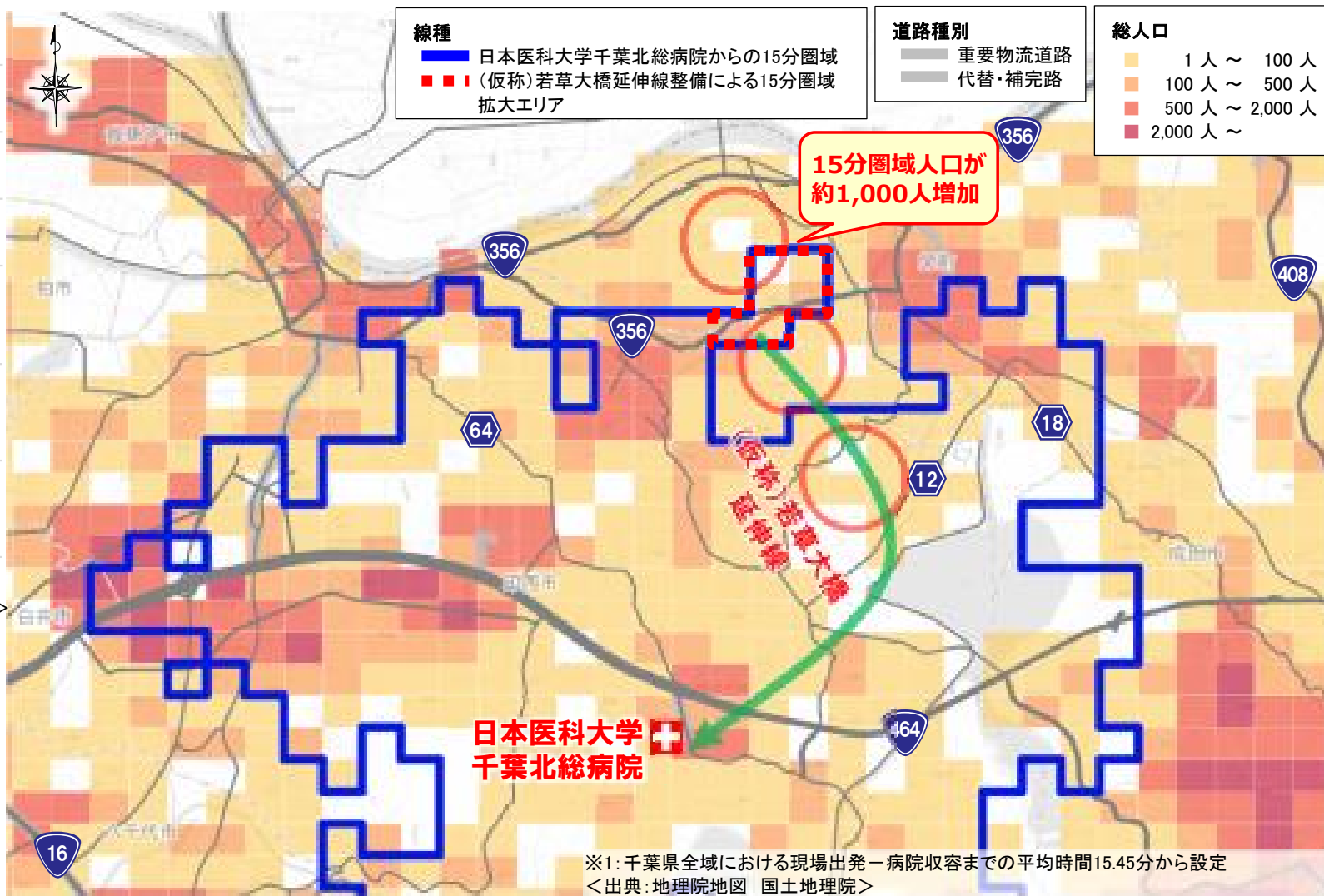
## (3) 医療

- 印西市及び栄町においては、救急出動件数がともに増加基調にある。
- 令和5年度救急搬送実態調査結果では、現場出発から病院収容までの千葉県全域平均時間は15.45分となっている。
- 当該路線の整備により、第三次救急医療機関（日本医科大学千葉北総病院）の15分圏域人口が約1,000人増加する見込みである。

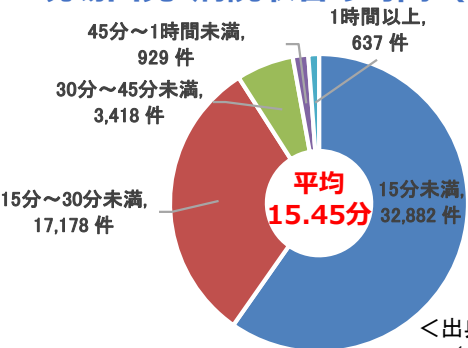
### ● 救急出場件数の推移



### ● 日本医科大学北総病院からの15分圏域※1



### ● 現場出発-病院収容の時間（千葉県）



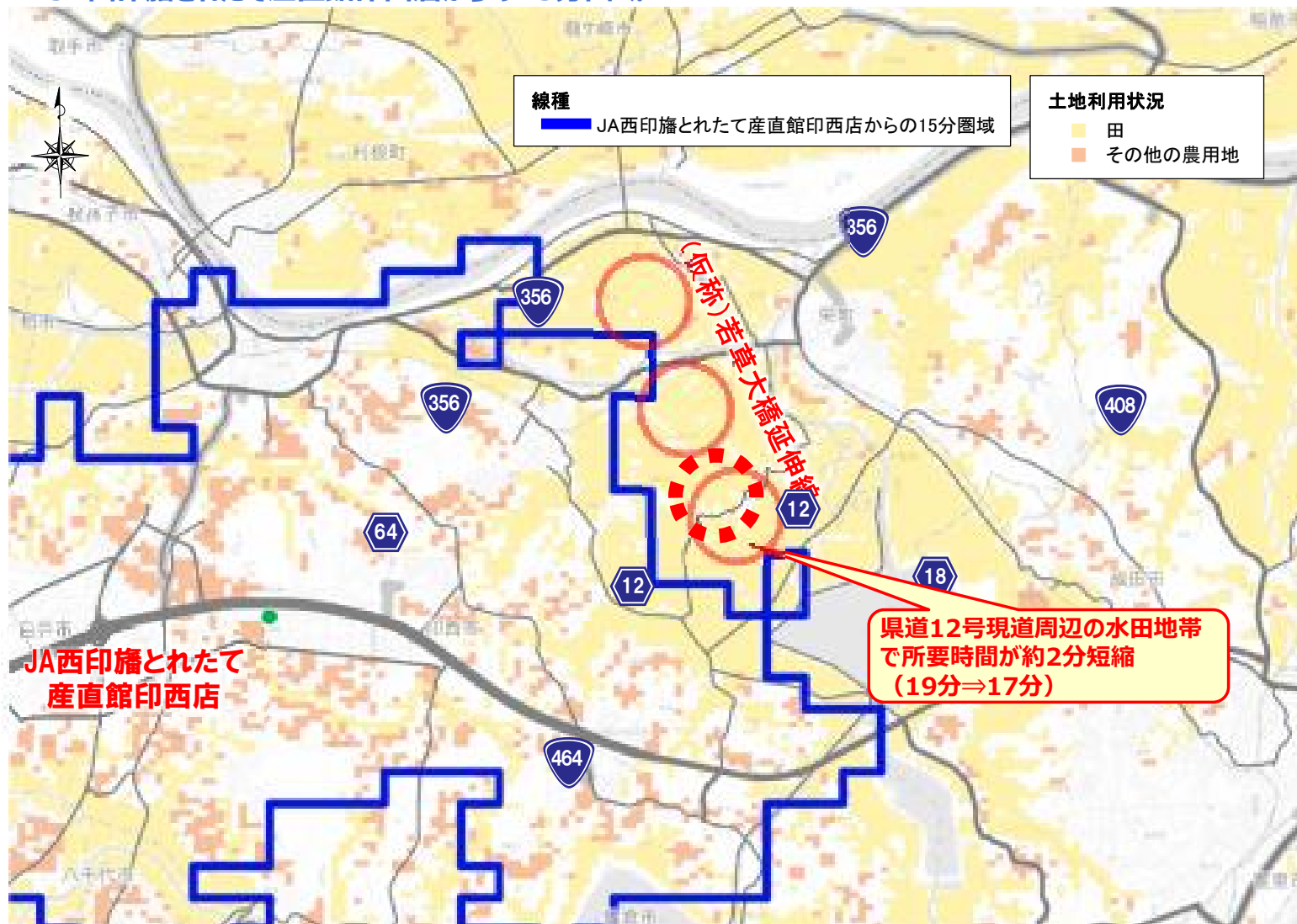
< 出典: 令和5年度救急搬送実態調査結果 (千葉県健康福祉部医療整備課) >

※1: 千葉県全域における現場出発-病院収容までの平均時間15.45分から設定  
 < 出典: 地理院地図 国土地理院 >  
 < 出典: 国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口データ(H30国政局推計) >  
 < 出典: 令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表 >  
 < 出典: 道路事業整備効果の計測手法(素案) 平成23年4月 国土交通省関東地方整備局 >

## (4) 産業 ① 農業

- 栄町、印西市ともに若草大橋延伸線付近は水田地帯であり、主に米の生産が行われている。
- 若草大橋延伸線の整備により、県道12号現道の水田地帯からJA西印旛とれたて産直館印西店への所要時間が約2分短縮する見込みである。

### ● JA西印旛とれたて産直館印西店からの15分圏域



<出典:地理院地図 国土地理院>

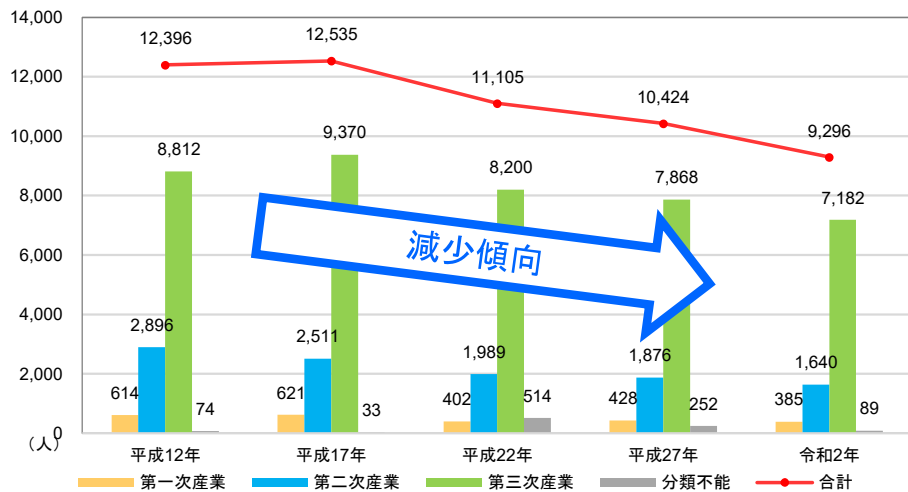
<出典:国土数値情報土地利用細分メッシュデータ(令和3年度版)>

# 3. 期待される効果

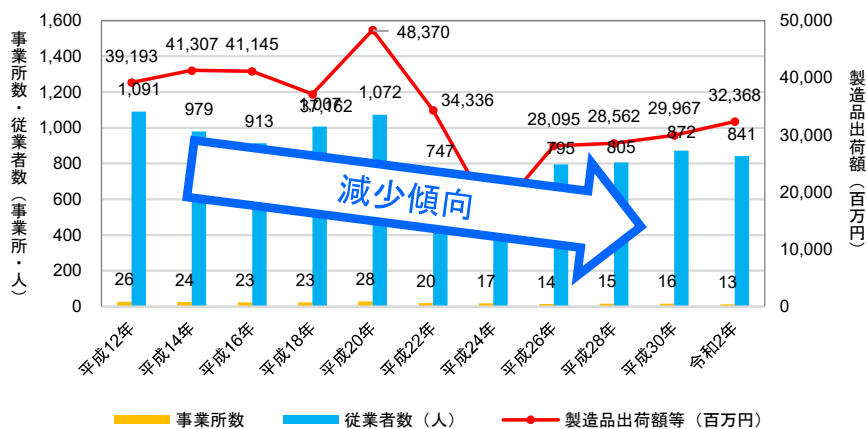
## (4) 産業 ② 製造業

- 栄町は、就業人口や製品出荷額等は減少傾向にあるなか、安食駅南東部を「沿道ポテンシャル活用エリア」と位置づけ、流通業務施設の誘致を図るなど、雇用の創出に向けたエリア形成を目指している。
- 若草大橋延伸線の整備により、全体的に沿道ポテンシャルエリアへの所要時間が短縮される見込みであり、県道12号現道周辺からの所要時間においては約5分短縮する見込みである。

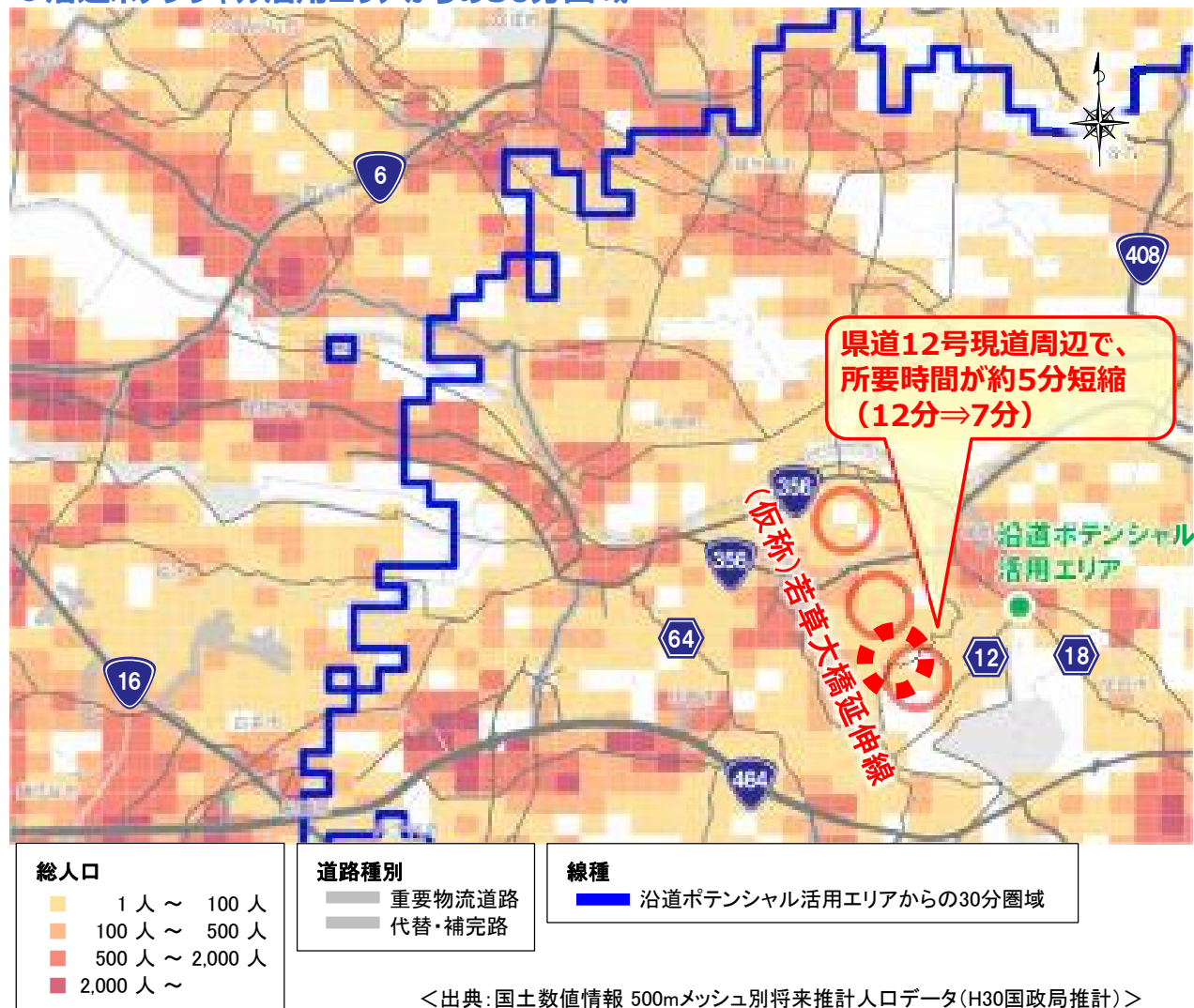
● 栄町の産業別就業人口の推移



● 栄町の製造業の事業所数・従業員数・出荷額の推移



● 沿道ポテンシャル活用エリアからの30分圏域



<出典:国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口データ(H30国政局推計)>  
 <出典:令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査 箇所別基本表>

## (6) 配慮事項(営農環境・防災機能・沿道開発・地域分断)

- 若草大橋延伸線付近は河川氾濫による浸水の危険性が高いことから、防災機能と将来的な沿道開発が両立できるような道路構造の検討。
- 若草大橋延伸線付近は水田地帯であることから、線形の調整（水田の形状）、日照の検討、道路排水の検討、地域分断が発生しないような農道の機能補償検討等への配慮。
- 冬になると水田地帯の中に約1,000羽の白鳥の群れが渡ってくる「白鳥の郷」の影響を考慮。

